

ゆるめき

●『当院の摂食・嚥下障害者への取り組み』実績報告

平成27年度集計結果(H27.4~H28.3)

取り組み	平成27年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
嚥下造影検査(件数)	15	19	12	15	13	7	16	13	11	11	12	22	166
摂食機能療法(//)	14	14	12	12	15	15	16	16	17	16	16	12	175
ソフト食(//)	30	26	27	28	25	23	17	21	21	23	25	25	291

※摂食(食物の取り込み)+嚥下(飲み込み)障害

●嚥下造影検査とは…

食べ物を飲み込んでいる様子は、外から観察しただけではよくわかりません。食べ物が誤って気管の中に入って起こる肺炎(誤嚥性肺炎)を防止するためにも嚥下造影検査は有効な検査です。検査ではバリウムを混ぜて作ったゼリーやジュース等をその方の状態に合わせて食べて頂き、その様子をX線透視を行いながら観察し、嚥下状態をみます。

●摂食機能療法とは…

口から食べられる可能性がある方には、患者様ひとり一人に合った摂取方法や飲み込みの訓練を実施し、食べる事ができるように取り組んでいます。

●ソフト食とは…

硬いものが食べにくい方や飲み込みが上手くできない方を対象に、安心して安全に食べて頂けるような形態です。やわらかいだけでなく、ばらつきがなく口の中でもまとまりのある食形態です。

●ひまわり託児所 修了式&新採用者オリエンテーション 平成28年3月23日(水)

●修了式

午前中に平成27年度(第22期)ひまわり託児所の修了式が行われ、多くの方に一年間の成長をお祝いしていただくことができました。日々成長し、大きくなっていく姿を保護者の方と見守ることができ嬉しく思います。 ひまわり託児所保育士



●新採用者オリエンテーション

午後には新採用者のオリエンテーションを行い、スーツに身を包んだ初々しい新採用者の方たちを迎えることができました。4月1日から一週間は各部署をまわり、圭良会の機能や特徴を理解し、社会人の一員としてのスタートを切ります。 教育委員会



【編集後記】

春の風が心地よく頬をなで、色とりどりの花々も咲き薫る季節となりました。4月には診療報酬改定があり、6月には病院機能評価中間審査を受審します。当院の色々な取り組みにより少しでも地域医療に貢献できるよう、そして当院へ来られる患者様・ご利用者様に満足していただけるサービスを提供できるよう職員一同、今年度も邁進していきたいと思っております。



- 医療法人 圭良会
- 永生病院 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
 - いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
 - いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
 - げんきの郷 (通所介護) 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
 - 森内科 香川県仲多度郡琴平町1167 Tel 0877-73-4188
 - グループホームこんびら (認知症対応型共同生活介護) Tel 0877-73-0811
 - サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護) 香川県仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600

永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるめき」第43号
 発行元：医療法人 圭良会 永生病院
 編集者：医療サービス改善委員会
 住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
 TEL:0877-73-3300
 FAX:0877-73-3202
 永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
 eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
 発行年月日：平成28年4月1日

【理事長のあいさつ】 少子高齢化人口減少社会の医療

【うまげな話】
「葉酸の効能」

【口腔ケア】
「口腔ケアってなあ〜に」

【行事報告&お知らせ】
平成27年度
ワーク・ライフ・バランス推進企業表彰にて
第15回日本医療マネジメント学会
第10回まんのう健康・福祉まつり

『当院の摂食・嚥下障害者への取り組み』実績報告
ひまわり託児所 修了式&新採用者オリエンテーション
【編集後記】

■病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
 患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
 医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■患者の権利章典

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1. 医療を受ける権利 | 3. 知る権利 | 5. 学習する権利 |
| 2. 自己決定権 | 4. プライバシーに関する権利 | 6. 参加と協同 |



KEIRYOKAI

● 理事長のあいさつ

少子高齢化人口減少社会の医療

平成28年新年度は、きびしい診療報酬改定のもとで始まりました。本体プラス改定とはいえ、内容はかなり厳しいものでした。団塊世代が75歳を迎える2025年に向けて推進されている地域包括ケアシステムを意識した内容でした。納得できる部分もいくつかありますが、どれもハードルが高く本当に進めようとしているのかと思えるものです。国民皆保険制度を持続・維持していくために、膨らんでいく社会保障費を抑制せねばならないことは分かりますが、実情と乖離していくのではないかと不安感をめぐえません。

他国に比してなかなかシェアが拡大しない後発医薬品については、政府目標が2017年半ばに70%以上とすることとなっているため、後発品使用体制に対し評価するとともに、残薬減少の評価を新設しています。

急性期医療に対しては、さらに密度の高い医療を必要とする患者の状態が適切に評価されるよう、「重症度、医療・看護必要度」の項目が見直され、その患者割合の基準は高くなっています。地域包括ケアシステム推進につながる退院支援の評価は充実され、新たな上の基準が設けられました。入院中認知症を有する患者で、本来の治療に難渋することをよく経験しますが、認知症ケアの向上を評価する項目が新設されました。リハビリテーションに関しては、標準算定日数を超えた維持期リハビリがかなり下げられ、高齢者でもまだ回復の余地のある患者の場合、評価されないことになりました。

療養病棟の医療区分についても見直しがあり、療養病棟にはさらに医療度の高い重症患者を受け入れるよう求められています。2年後の介護報酬との同時改定に向けて今後さらに議論が

すすんでいくものと思われます。平均在院日数が短縮していく中、療養病床(慢性期病床)では高齢者の治療不十分な状態での患者を引き受けています。当院も同様で、ここ数年一般病棟のみならず、介護療養型病棟でも医療度は重症化しています。単に要介護度が4~5と上がっているだけでなく、複雑な合併症をあわせもつ重症患者が増えています。病状安定した患者は施設(あるいは在宅)へとすすめようとしても、殆どが困難な病状です。無理やり施設系へ誘導すれば急性増悪として急性期病院へ送られ、高い医療資源が使われることになり、結果的に医療費抑制にはなっていないのが現状です。このような状況下で必要病床数の推計値が一般病床100.6万床から90.6万床へ、療養病床(慢性期病床)が、34.1万床から24.2~28.5万床程度へ減少しているのは理解に苦しみます。今後医療機能分化を進めていく中で、もっと現状にあった議論がなされることを期待します。



理事長 森 伊津子

健康は毎日の食事から…

うまげな話

【第15回】～小さいけど大きなパワー～ 葉酸の効能

葉酸は、ビタミンB₁₂と共に赤血球の生産に関わっています。新しい赤血球が作られる時に不足すると悪性貧血を招くため「造血のビタミン」とも言われています。また、蛋白質や細胞新生に必要な核酸(DNA)を合成する上で重要です。今回はこの「葉酸」についてご紹介したいと思います!

葉酸の主な効果効能

赤血球の産生・発育促進・抗体の産生

1日あたりの摂取目安量	男性	女性
成人	240μg	240μg
60歳以上	240μg	240μg

葉酸を多く含む代表的な食品とは…

葉酸を多く含む食品	含有量(μg)/100g中	葉酸を多く含む食品	含有量(μg)/100g中
焼きのり	1900	菜の花	340
鶏レバー	1300	枝豆	320
牛レバー	1000	きな粉	250
ウニ	360	芽キャベツ	240

うまげな料理カード

ビタミンCで活性化!簡単でおいしいスピードメニュー!!

キャベツの梅&のり醤油サラダ 2人分

材料 キャベツ/80g 胡瓜/50g 焼きのり/適量
~梅醤油ドレッシング~(※)
練り梅/小さじ1杯 醤油/小さじ1杯 酢/小さじ1杯
サラダ油/小さじ1杯

作り方 ①キャベツと胡瓜を食べやすい大きさに切り、さっと茹でた後、水分をよく切っておく。
②(※)の梅醤油ドレッシングの材料をすべて混ぜ合わせる。
③①の材料に、焼きのりをちぎって乗せ、②のドレッシングをかけてできあがり!

これら以外にも、その名の通り、緑の葉野菜に多く含まれます。その他、レバー以外の肉や果物、豆、海藻類にも多く含まれています。

健康によい食材をバランスよく食べましょう!

栄養科

● 口腔ケアってなあ〜に ~口腔ケアとは~



口腔ケアは、いつもの歯磨きと何が違うのでしょうか?

口腔ケアは大きく分けて2つの種類があります。お口をきれいにするケア(器質的口腔ケア)とお口の機能を高めるケア(機能的口腔ケア)があり、どちらも欠かすことができません。



歯だけきれいにしてほしいのかと思っていたよ。

歯磨きもとっても大切です。でも、お口をきれいにし、お口の運動やリハビリを一緒にするともっともっと良い効果が期待できます。



器質的口腔ケアとは、「お口の中をお掃除して清潔に保つ」ためのケアです。歯の汚れ以外にほほの内側や歯ぐき、舌にも同じように汚れは付着します。その中には多くの細菌が繁殖しているので、お口の歯垢や食べかすをきれいにし取り除く必要があります。機能的口腔ケアとは、「お口の機能を回復させ、維持・向上する」ためのケアです。お口の筋肉がスムーズに働かなくては、噛む・飲み込む・話す・笑うなど思い通りにいきません。身体リハビリがあるように、お口にもリハビリが必要です。お口のリハビリをすることで、筋肉や脳が刺激され失われていた口腔機能が回復することもあるそうです。

当法人での取り組み

- 通所介護では**
口腔機能が低下している利用者または、そのおそれのある方に対して口腔清掃の指導や実施、また摂食・嚥下機能に関する訓練などを実施しています。
- 一般病棟では**
入院患者に対し口腔内の観察を行い、口腔内に異常がないか確認しています。
- 介護療養型病棟では**
協力を得ている歯科医師から指導を受けながら、入院患者に対し口腔ケアを行っています。

今回は「高齢者・要介護者の口腔内の特徴」についてです。
※ホームページ「はじめよう!やってみよう!口腔ケア」より

● 平成27年度 ワーク・ライフ・バランス推進企業表彰にて 香川県商工労働部長賞 受賞 平成28年2月5日(金)

「長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進などの働き方・休み方の見直し等により、すべての労働者がワーク・ライフ・バランスを図ることができる働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組み、これについて優れた成果が認められる事業所について、その功績を称えらるとともに、これを広く県民に周知することにより、働きやすい職場環境整備の促進及び、ワーク・ライフ・バランスに対する意識の醸成を図る。」を目的として、平成24年6月よりワーク・ライフ・バランス推進企業表彰が設けられました。

今回当法人では、
①育児休業、介護休業制度の充実 ②育児・介護休業法を上回る制度 ③24時間対応の院内託児所の設置などが認められ、香川県商工労働部長賞を受賞することができました。 両立支援推進委員会



● 第15回 日本医療マネジメント学会 平成28年3月5日(土)

高松市の社会福祉総合センターで行われた第15回日本医療マネジメント学会にて、永生病院の一般病棟から「ターミナル患者にできる事」、栄養科から「嚥下調整食への取り組み」の2演題を発表してきました。

座長からは、「ターミナル(終末期)患者に外出支援を試みるというのは大変な事ですが、本人やご家族の希望に応えられているのは素晴らしい取り組みです。他院の医療従事者も、ターミナル患者に1度は外出をさせてあげたいと思って仕事をしていると思いますが、なかなか実行に移せていない病院が多いと思うので、ぜひ見習いたいです。」

また、「嚥下調整食という嚥下障害者向けの食事を色々工夫され、個別メニューやバイキング食事会などもされていて良い取り組みだと思いました。これからも頑張ってください。」との感想を頂く事ができました。

これからも信頼される医療を目指し、学会で学んだ事を今後の業務に活かしていきたいと思ひます。



● 第10回 まんのう健康・福祉まつり 平成28年3月20日(日)

まんのう町満濃農村環境改善センターで開催された第10回まんのう健康・福祉まつりに今年も通所介護いこいの家、げんきの郷で参加しました。

永生病院と通所介護いこいの家、げんきの郷の一日の流れや取り組み内容を紹介したパネル展示と利用者様の作品展示を行い、ミニミニ体験では実際のデイサービスの内容を体験していただくためリハビリ体操や口腔体操、しおり作りに参加していただきました。お天気にも恵まれ多くの方が来場されました。

